

「Group Digital Vision 2030」制定のお知らせ

東洋製罐グループは長期経営ビジョン 2050「未来をつつむ」の実現に向け、最新のデジタル技術やデータ基盤を最大限活用することで、「競争力の源泉」を更に進化させることを目指し、デジタル化社会におけるグループのあるべき姿「Group Digital Vision 2030」を制定します。

当社グループは、これまで包装容器を通じて生活に役立つさまざまなものを届け、社会や人びとの幸せを支えてきました。その中で培われてきた豊富な技術・ノウハウ・データ・人財は、現在、私たちの「競争力の源泉」となっています。一方、近年の著しいデジタル技術の進展により、私たちの社会や人びとの価値観は大きく変わりつつあります。今後は本ビジョンを基に「データ活用の高度化」を重要な戦略テーマの1つと捉え、社会により一層貢献する企業への変革を目指します。

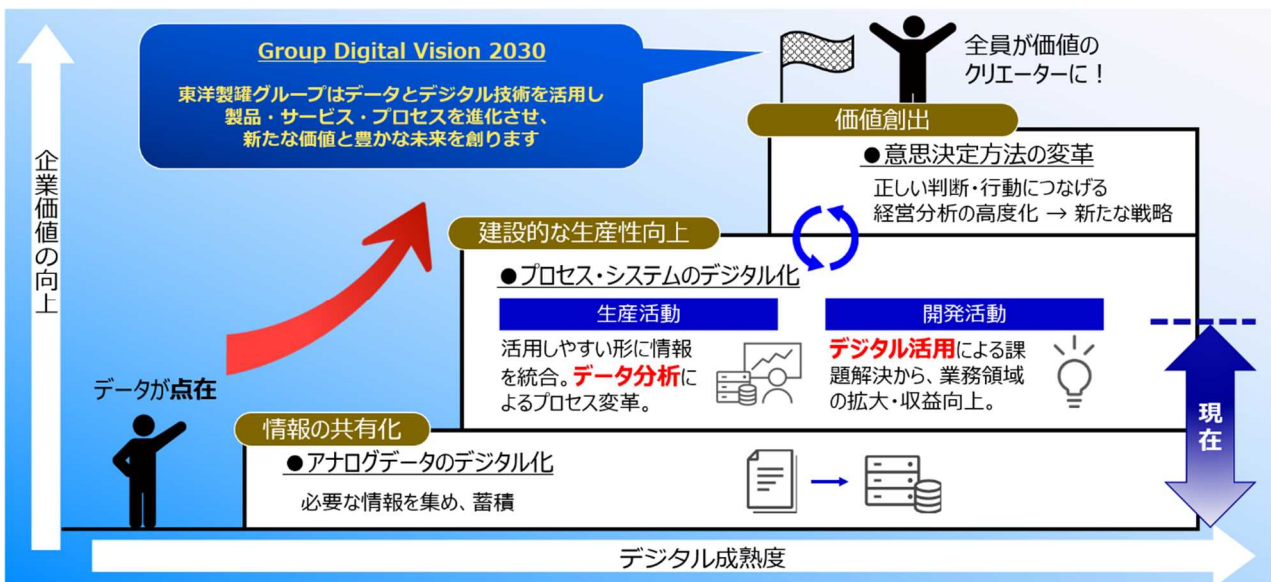
Group Digital Vision 2030

東洋製罐グループはデータとデジタル技術を活用し
製品・サービス・プロセスを進化させ、新たな価値と豊かな未来を創ります

Digital Action 2030

1. データ活用の高度化
 - ITインフラ基盤の構築
 - IT人材の育成
2. ITリスク管理の強化
3. 新規ビジネス領域の創出

<DX推進のステップ>



当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050年を見据えた「長期経営ビジョン2050『未来をつつむ』」を2021年5月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進してまいります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・矢澤

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以 上